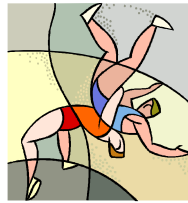


葦工 ニュース

県立葦崎工業高校 広報部

第4号 2004.11.8



国民体育大会特集

第69回国民体育大会「彩の国まごころ国体」(埼玉国体)が10月22日から行われ、本校からレスリング部とバレーボール部の選手が出場した。3年生が最後の試合にのぞみ最高の結果が出た。

バレーボール部は山梨県選抜チームの一員として理数工学科3年山本星也(浅川中出身)が出場。少年男子2回戦では静岡選抜と対戦セットカウント2-1で勝ちましたが、3回戦の宮城選抜チームには0-2で惜しくも破れてしまいました。

一方レスリング部は9月26日より埼玉県志木市民体育館でグレコローマンスタイルの試合が行われ本校より5名の選手が出場した。階級は60kg米満達弘(J3)・66kg倉谷修平(R3)・矢崎広宣(M3-1)・84kg後藤翼(2-3)以上4名が表彰台にたった。中でも米満・倉谷が優勝、矢崎・後藤が3位に入賞した。国体での優勝は12年ぶり3回目で、本校レスリングは全国でも屈指の強豪チームといえる。



グレコローマンスタイル60kg級
優勝 米満 達弘 (吉田中出身)

8月の全国大会の優勝者。今回の国体は第1シードで2回戦からの出場。対戦相手は愛媛県代表麻生君をテクニカルフォール勝ち。3回戦の富山県代表石黒くんもテクニカルフォール勝ちと順当に準決勝に進出。準決勝では宮崎県の斉藤君も危なげなくフォール勝ちで、決勝に進出し東京都の代表に11-5の大差を付けて見事に優勝した。試合前に必ず勝の宣言通り見事な優勝だった。今後の目標はズバリオリンピックで金メダルを取ること。



グレコローマンスタイル

66kg級 優勝

倉谷 修平 (葦崎東中出身)

8月の全国グレコでは残念ながら準優勝。昨年の国体では準優勝。今回の大会は「必ず勝つ」と堅い決意で望んだ。

第2シードの倉谷は危なげない試合運びで2回戦神奈川県代表の金子君に6-0の完勝。3回戦は愛媛県代表の中野君のテクニカルフォール勝ち準準決勝では岐阜県代表の成瀬君に4-0のストレート勝ち。ここまで相手に1ポイントも許さない完璧なレスリングを披露。決勝でも茨城県代表の森川君に3-1の判定勝ちで見事初優勝を成し遂げた。つらい練習にも耐え日々の積み重ねから得られた勝利だと倉谷は言っていた。今後の目標はインカレで優勝すること。

3年生最後の大会で葦崎工業高校レスリング部キャプテンの矢崎はチームとしてまた個人として気合いの入った試合運びだった。2回戦の滋賀県代表の青木君を後半フォール勝ち。準々決勝は長野県代表で第2シードの水石君を3-0の判定勝ちと完勝した。翌日の準決勝では秋田県代表の門間君に惜しくも破れたものの第3位となった。3年間のレスリングを通して最後の全国大会で結果を残せた。レスリングから学んだことは礼儀と忍耐力・判断力が身に付いた。今後就職してからも後輩の指導をしていきたい。

グレコローマンスタイル

74kg級 第3位

矢崎 広宣 (竜王北中出身)



グレコローマンスタイル

84kg級 第3位

後藤 翼 (忍野中出身)

2年生で国体出場を果たした後藤は自分のベスト体重より重い階級で出場した。周りの選手は減量に成功した選手達でしかも上級生と言うプレッシャーを跳ね除け見事に3位に輝いた。

1回戦の相手は香川県代表の小笠原君に6-0とポイントを与えず圧勝。2回戦は三重県代表の奥村君を3-0の判定勝ちで波に乗り、続く3回戦は第1シードを破った鹿児島県代表の野口君に4-4の延長戦までもつれ込んでの勝利。翌日の準決勝では宮城県代表の渡辺君に0-7で破れ、惜しくも3位に終わったが来年の目標は全国大会優勝と言っていた。次は66kg級と体重を落とし関東選抜には優勝し

全国選抜でも今回以上の成績を残したいと決意を新たにしていた。

甘利山登山強歩大会実施

11月5日快晴の青空の下、標高差1300m距離にして15.4km先の甘利山グリーンロッジを折り返し点とし甘利山登山強歩が行われました。神宮司校長の太鼓の合図とともに全校生徒421名が一斉にスタート。トップは1-2小澤竜司君でした。



U R L <http://www.kai.ed.jp/niraith/>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp